

グリーンコープの仲間を増やし、 グリーンコープ運動を 社会に広げていこう

グリーンコープ共同体第八期通常総会
グリーンコープ連合第二十二期通常総会
グリーンコープ共済連第五期通常総会



共生の時代

みどりの地球を
みどりのままで

2014 7月

■発行：グリーンコープ共同体理事会
■編集：共生の時代・編集部
■〒812-8561
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
ヒューリック博多ビル3階
TEL092(481)7923
FAX092(481)7876
<http://www.greencoop.or.jp/>

Contents

グリーンコープ共同体 第八期通常総会 基調総括(要旨)	2・3
グリーンコープ共同体 第八期通常総会 委員会報告	4・5
グリーンコープ連合 第二十二期通常総会 グリーンコープ共済連 第五期通常総会	6
グリーンコープ共同体 第八期通常総会特別決議	7
シャボン玉月間 せっけん学習会 シャボン玉フォーラムin大阪	8・9
2014年5月 酪農生産者交流会	10
グリーンコープの輪・和・環 グリーンコープ生協くまもと 本田洋子さん	11
別紙にて、「放射能汚染と向きあう (放射能測定室より)」を掲載	

2014年6月18日、グリーンコープ共同体第八期通常総会とグリーンコープ連合第二十二期通常総会、グリーンコープ共済連第五期通常総会が福岡市で開催され、約400人の組合員、職員、ワーカーが参加しました。

それぞれ、2013年度の事業・活動を振り返り、2014年度に向かうための提案が行われました。真摯な検討の結果、すべての議案が賛成多数で可決・承認されました。

併せて、これからのグリーンコープの指針とするために検討してきた、特別決議「グリーンコープが願う、目指すもの(11条)」「(7面掲載)も採択しました。

参加者は、グリーンコープ運動の素晴らしさを改めて実感し、グリーンコープが大切にしてきたことを一つひとつ実践していくことを確認した総会となりました。



グリーンクラブ会長
中尾 好伸さん

グリーンクラブとして遣伝子組み換え作物反対の取り組みなどにも積極的に関わりようになり、グリーンコープ運動は社会的に大きな運動であると感じています。それを成功させていく

※グリーンコープ商品納入業者の会

経済優先の格差社会、原いのちを守るために、グリーン稼働の動き、少子高齢化など、日本は将来に大きな不安を抱えています。東日本大震災の被災地の復興も、まだまだ長い道のりが続きます。今年3月11日、東日本大震災の3年後集会を福岡で開催しました。私たちはこれからも共生地域を強く持ち、すすんで創造財団をととして、ともに生きていく未来を築いていくことを改めて心に刻みました。

不安な社会状況の中、私たちと未来の子どもたちのために、それぞれの役割がとて重要になってきます。一人ひとり立場も感性も違いますが、組織の中で推進役、道をつくる役などの役割を持ち、認め合いながらめざす方向に向かうことが成功につながっていくと思います。

グリーンコープ運動がますます発展していくために一緒に頑張っていきたいと思えます。

※グリーンコープ商品納入業者の会



グリーンコープ共同体
代表理事
田中 裕子さん

「共生の時代」に、グリーンコープ運動を自信をもつてすすめることが何より大切だと思います。それは、生活協同組合の原点である組合員が主人公になり、どうしたのか考え、話し合い、行動していくことです。ひとりの母親としての願いと想いを強く持ち、すすんでいきましょう。

そして、組合員力、労働協同組合(ワーカーズ)力、職員力を発揮して、心を一つにして、未来を切り開いていきましょう。

原点に立ち帰り つきを豊かにして プ運動をすすめます

2014年6月18日

グリーンコープ共同体

第八期通常総会

基調総括(要旨)

組合員が主人公となって 大好きなグリーンコープを伝えていきます

グリーンコープ共同体代表理事 田中裕子さん

グリーンコープは今、かつてないほど深刻な状況にあります。組合員数が徐々に減り、供給が減少する中、私たちはこのままではグリーンコープを未来の子どもたちに手渡すことができないと考へ、これからの組合員活動をどうすすめていくかについて検討を重ねました。私たちは今、皆で確認した方針にそって、元氣よく組合員を増やす取り組みをすすめています。

グリーンコープは、組合員力と職員力、労働協同組合（ワークス）が心一つにして、仲間づくりの取り組みをすすめていきます。

そして労働協同組合（ワークス）力とは、組合員力と職員力を合わせ持つ最強の力。この三つの力を合わせていけば、グリーンコープをつくりあげてきた先輩組合員に負けない思いと力で、この状況を乗り越えていく私たちに成ると考へます。

組合員と職員、労働協同組合（ワークス）が心一つにして、仲間づくりの取り組みをすすめていきます。

これからの組合員活動の基本方針

グリーンコープが今を乗り越えていくためには、グリーンコープで改めて組合員が主役になっていくことです。組合員が自らの思いで、どんなグリーンコープでありたいのかを考へ、そのためにはどうやっていくのか

組合員力とは、組合員が、素直にグリーンコープを大好きだと思ふ気持ちを伝えるために自信を持って行動していく力。職員力とは、グリーンコープが大好きな組合員が集まる、そういう生活協同組合で働いていることに誇りを持って業務を果たしていく力。



▶2013年秋、くまもとでは「マロンフェスタ」に参加してアピール



▶2014年春、ふくおかは各地の郵便局でPR



▶2014年5月3日、ふくおかは「博多どんたく港まつり」パレードに参加

2013年度末(2014年3月20日) 現在の組合員の状況 (単位:人)

組合員役員(活動組合員)	2,350
組合員事務局	289
生協内労働協同組合員	1,347
生協外労働協同組合員	2,597
代理人関係者	33
小計	6,616
総組合員	375,863

総組合員数375,863人のうち、56.8人に1人の割合で、組合員役員や組合員事務局、労働協同組合員、代理人関係者などとしてグリーンコープ運動に関係していることとなります。



第一号議案「2013年度活動報告承認の件」を提案するグリーンコープ共同体専務理事 片岡 宏明さん

グリーンコープは連帯の力で地域を再生する運動を成長・発展させてきました

私たちはグリーンコープは、「現在のような世界経済が崩壊することは避けられない。人間は、崩壊の悲惨を生き延びて、人間と人間の連帯による新しい社会を創る必要がある。グリーンコープは崩壊に備えて対応して生き延びながら、人間と人間の連帯による新しい社会を創る実践に取り組む」と考へて実践してきました。「安心・安全な食生活」を共同購入する小さな生活協同組合から、大きく連帯することを通して生き残り、地域に下降し、地域を再生する運動を成長・発展させてきました。

グリーンコープが家事支援に取り組み始めたのは、国の介護保険制度がスタートする前。生活協同組合が公的制度のホームヘルプサービスを行うことはまだ想定されていない時期に、グリーンコープは生協の中でも先駆けて実践しました。

2006年に始めた「生活再生事業」は、生活協同組合が貸付事業を行うという画期的なものでしたが、これも当時、想定外のことで国と協議を重ね、法整備が行われまし

ふくおかが買物困難者のための移動販売を始め際も、当初は組合員以外での利用が認められませんでした。しかし単に買物を支援するのではなく、地域のコミュニティを再生する取り組みであると説明することで、組合員以外の地域の人にも利用できるようになりました。

同様に、昨年スタートした市民電力事業も、当初は、これまでの生活協同組合の枠を超えた事業と見なされ、国と半年近く協議を重ねました。その結果、売電事業自由化に向かっていくこともあり、将来的に生活協同組合が発電事業を行うことを想定し、それに向けた調査研究事業としてようやく認可されました。

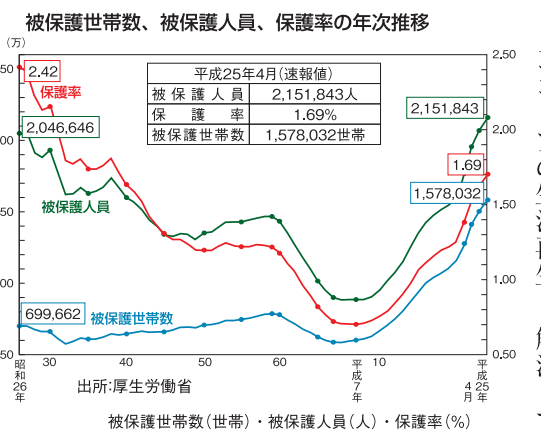
さらに、2013年12月に公布された「生活困窮者自立支援法」では、グリーンコープの生活再生

日本では、国や企業が生き残ることが全てに優先され、社会的に弱いものたちが切り捨てられ、その結果、生活に困窮する人が急激に増加しています。「生活困窮者自立支援法」の背景にあるのは、日本の社会が大きく転換している現実です。その中でグリーンコープも厳しい経営が続いています。

格差社会が広がる中、人と人との結びつきやつながりによって連帯して解決していかなければ

このようにグリーンコープの一つひとつの実践が社会を変えています。地域福祉をすすめていく中で「物品販売業」の域を超え、「真の生活協同組合」へと脱皮しました。

しかし今、私たちがこれまで生きてきた社会は崩壊を始めています



※生活に困窮する人(子ども・若者を含む)を包括的に支援するため、2015年4月から全国の自治体で施行される。一つの窓口で包括的にさまざまな相談を受け、相談者と共に自立への道を探る。「家計相談支援事業」は、グリーンコープの生活再生事業がモデルとなっている。

生活協同組合の 人と人の結び グリーンコー



2014年度共同体理事会メンバー

グリーコープのこれまでの歩み

- 1960~70年代** ●小さな生活協同組合が各地に誕生
- 1986年 4月** ●チェルノブイリ原発事故が起きる
- 1988年 3月** ●九州・山口の25生協でグリーンコープ連合結成
- 1989年 2月** ●「特別決議 脱原発社会の建設への取り組みをすすめよう」採択
- 1993年** ●中期計画基本構想「夢をかたちに」まとまる
- 1994年 8月** ●グリーンコープ福祉連帯基金設立
- 1995年** ●初めての家事サービスワーカーズ誕生
- 1995年 6月** ●「特別決議 不戦はグリーンコープの原点です」採択
●「グリーンコープ脱原発政策」採択
- 1996年** ●びんリユースシステム始動
●福祉活動組合員基金(100円基金) 設置始まる
*2014年3月現在、9つの単協で設置され、平均90%の組合員が拠出
- 1998年** ●non-GMO(遺伝子組み換えでない)牛乳供給開始
- 2000年** ●国の介護保険制度始まる
●グリーンコープとして介護保険制度に参入
- 2001年** ●グリーンコープ福祉ワーカーズ・コレクティブ連合会設立
●グリーン*システム(個配・ペア配・班配達)スタート
- 2003年** ●びん牛乳の登場
●「社会福祉法人 煙」設立(2008年に「社会福祉法人グリーンコープ」に名称変更)
●子育て応援の取り組み開始
- 2006年** ●生活再生事業開始
*現在ふくおか、くまもと、おおいた、やまぐち、(長崎)の5つの単協で生活再生相談室を開設。電話件数24,901件、面談件数13,791件(開業時~2013年度までの累計)
- 2007年 9月** ●グリーンコープ共同体設立
- 2009年** ●互惠のためのアジア民衆基金設立
- 2010年** ●生活困窮者自立支援施設「抱樸館福岡」開設
*開所時からの総入居者数は642人。うち8割近くの人が社会復帰(2014年3月現在)
●ファイバーリサイクル事業開始
*事業開始からのべ16,600人が約176トンの衣類を届ける(2014年3月現在)
*就労訓練として、衣類の仕分け作業などに60人以上が参加(2014年3月現在)
- 2011年 3月** ●東日本大震災・東京電力原発事故が起きる
- 2011年** ●認可外保育所「げんきの森こども園」開園
●東日本大震災の被災地支援のため「共生地域創造財団」設立
*被災地支援のための組合員カンパ総額2億8,419万9,302円(2014年6月5日現在)
- 2012年** ●認可保育所「松島りすの森保育園」開園
●グリーンコープの労働協同組合法制定
- 2013年** ●学校法人グリーンコープ「香椎照葉幼稚園」開園
●認可外保育所「水巻ちいさいお家保育園」開園
●各地にキーブ&ショップ展開
- 2013年 9月** ●神在太陽光発電所売電開始
*2014年5月までの発電量累計は919,060kwh。13単協から884人の組合員が視察
- 2013年12月** ●国の生活困窮者自立支援法成立
●生活困窮者自立促進支援モデル事業「糟屋自立相談支援事務所(くらしの困りごと相談室)」開所

「ならない課題が山積しています。今こそ、生活協同組合の原点に立ち帰って、グリーンコープ運動を展開していく必要があります。」

グリーンコープの経営再建に向け、「2014年 打って出る」ために最大の検討と準備を行いました

2013年度、「グリーンコープの起死回生のために、オールグリーンコープの総力をまずグリーンコープ生協ふくおかに投下し、ふくおかが現状を突破していく」と確認し、2014年から始める取り組みの準備をすすめました。

2014年2月14日から、テレビCMやミニ番組、新聞広告などを展開して組合員を増やす取り組みが始まりました。メディア展開を通じて「久しぶりにグリーンコープ

と連絡をとった」「はじめグリーンコープと連絡をとった」という方が増えており、「グリーンコープを社会にしっかりと伝えていくこと」ができていくと手ごたえを感じています。

組合員、労働協同組合(ワーカーズ)、職員事務局のそれぞれが、自分たちのこれまでを率直に見直し、「2014年 打って出る」展開を自ら主体化しています。これこそがグリーンコープの再建と起死回生を握る鍵となっていくと見ます。

その結果、ふくおかの組合員拡大は15、771人と4年ぶりに前年を超えて大きくすすみました。2011年以来の組合員の減少に歯止めをかけ、登録組合員数と注文书配布枚数が前年を超えることができました。

こうしたふくおかの動きをオールグリーンコー

プで共有・検討することでお互いに学びあうものがあり、オールグリーンコープとしても、2010年以降減少していた組合員数が増加に転じました。私たちは間違いなく、事業・経営の挽回の一步を歩み出すことができています。

組合員、労働協同組合(ワーカーズ)、職員事務局の一人ひとりが人間として大切にされ、活かされるグリーンコープをつくること、グリーンコープの強化につながります

この4年間、「労働協同組合(ワーカーズ)の強化」というテーマの下に設置された共同体ワーカーズ担当事務局に支えられ、配送共同購入とお客様の労働協同組合連絡会が運営されてきました。

相互媒介と学び合いや系統的で継続的な研修など

をすすめる中、グリーンコープの「労働協同組合(ワーカーズ・コレクティブ)法と模範定款」を検討する動きがなりました。その検討は、オールグリーンコープの他の労働協同組合(ワーカーズ)にも広がり、自分たちのあり方を「労働を協同し、その労働をより良いものにしていく、そのような組織と仕事をつくっていく

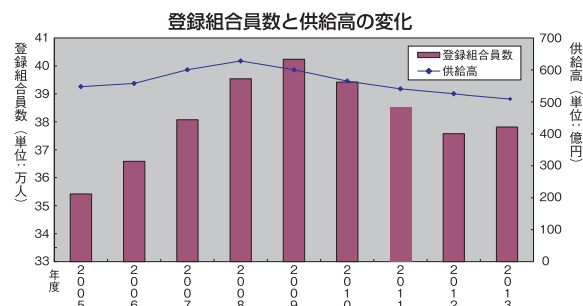
く」と明確に意識化できるようにになりました。そのことが労働協同組合(ワーカーズ)としての内実をつくっていく動きを支えています。今、ファイバーリサイクルショップ「ゆう*あい」やキーブ&ショップ、食育などを担う労働協同組合が、各単協に次々と立ち上がっています。

労働協同組合(ワーカーズ)と職員が、組合員と並ぶグリーンコープの主体として活かされるよう、長年の懸案と期待であった体系的・継続的な研修として「グリーンコープ基礎研修」を始めました。労働協同組合(ワーカーズ)と職員がさまざまなことを知り、考え、その上で、事業を担うものとしてどのように事業を担い、遂行していくかを獲得するための研修です。組合員も労働協同組合(ワーカーズ)も職員も、

すべての人が同じ人間として活かされるグリーンコープをめざして力強く改革していく営みの一つです。

グリーンコープは未来を考え、未来と今をどのように生きるかを考え、その生き方をグリーンコープ運動として実践しています。地域の中で、組合員、労働協同組合(ワーカーズ)と職員が人と人との結びつきを柔らかく豊かにつくっていくことが、グリーンコープの仲間を増やしていくこと、そして地域や社会を変えていくことにつながります。

今こそ、人と人が助けあい連帯する社会をめざし、グリーンコープ運動を力強く能動的に推進していきましょう。



組織委員会

「せっけん」「環境」「平和」「アジアとの連帯」について すすめます



組織委員会
委員長
久保 かおりさん

2013年度も、グリーンコープの運動課題について、各単協の取り組みを報告し、それぞれ自分たちのこととして引き寄せ、意見交換しながらすすめました。

せっけんの利用を広げるための学習会では、グループディスカッションを行い、せっけんをどのように伝えていくかを学び合う場となりました。リユース・リサイクルの取り組みについて案内した「グリーンコープ4Rガイド」のリニューアルを検討し、仕分け袋の分かりやすい説明を加え、より活用しやすいものとなりました。

脱原発の情報を共有するために、脱原発学習会を開催しました。原発に頼らない、市民参加型・地域単位でのエネルギーをつくっていくこと

大切さを考えました。平和学習会では、グリーンコープ運動の原点となる自転車隊の取り組みと日韓の歴史について学び、平和を伝えていくことの大切さを考える機会となりました。共生・平和長崎自転車隊は、初めて韓国からの参加があり、今後の連帯を確認し、平和のメッセージを共有することができました。

青少年ネグロス体験ツアー、fromネグロス学習会を開催し、アジアとの連帯を共有学習することができました。

2014年度もさまざまな運動課題について、充分に相談・協議できる場とすることを意識し、各単協での活動に活かしていくことをめざします。

2014年6月18日
グリーンコープ共同体
第八期通常総会
委員会報告

商品検討委員会

ひとりの女性 ひとりの母親として 商品を検討していきます



商品検討委員会
委員長
薬師寺 ひろみさん

より多くの組合員にグリーンコープ自慢の商品を利用してもらえるよう、すべての商品を私たちの商品として引き寄せ、「単協商品開発」で培った知恵と熱い情熱を注いで検討に取り組みしました。2013年度は約645品目について開発・改善の検討と確認をしました。

25年ぶりの開発・改善の取り組みでは、だし類、辛子めんたいなどがこれまで以上においしく、使いやすいことをめざし、納得のいく商品を作ろうと丁寧に意見交換し、検討していきま

検討をすすめました。また、新規のメーカーと視察・交流をし、組合員の気持ちや伝え、信頼関係を築くことができました。

商品の試食検討では各県で食の文化や好まれる味が違う中、全体で支持される商品にしていくために、妥協することなく真剣に意見を出し合い、時に判断に悩むこともありますが、ひとりの組合員、ひとりの女性、ひとりの母親としての気持ちを大切にしたい視点で検討していきま



組織委員会の
せっけん学習会
福祉委員会でファイバーリサイクルを視察



商品おすすめ委員会 りんご産地視察・交流



商品検討委員会 試食の様子

福祉委員会

グリーンコープの福祉の 理念を大切に 地域福祉をすすめます



福祉委員会
委員長
塩塚 純子さん

各単協で福祉の経過や取り組みが違いますが、今年度もグリーンコープの福祉の理念を大切に、方針にそって委員会活動をすすめました。毎月の委員会ではそれぞれの取り組みを丁寧に共有し、単協の活動に活かすことができました。

「グリーンコープの福祉」「ワーカーズ運動」「社会福祉法人グリーンコープ」というテーマで内部学習会を行い、グリーンコープがすすめてきた参加型地域福祉について学び、自分たち組合員ができることを考えていきたいと思われました。地域福祉を豊かにしていくために、学習会や視察研修を行いました。高齢者福祉学習会は、人が生きていく上で「コミュニケーション」と食事・排せつ」という日常を丁寧に生活することが大切であり、食生活で心と身体を育てる力や幸せにつながることを、子育て応援学習会では、地域のさまざまな人たちの関わりが必要だということとを改めて学びました。抱樸館福岡とファイバーリサイクルセンターの視察研修では、その目的と意義を確認し、福祉事業の広がりを実感できました。生活すべてが福祉であると捉え、グリーンコープの地域福祉をすすめていく取り組みに活かせるよう委員会活動の充実をめざします。

商品おすすめ委員会

視察・交流に取り組み 利用普及につなげます



商品おすすめ委員会
委員長
阿部 恭子さん

グリーンコープの食べ物の運動の象徴である産直びん牛乳が誕生10周年を迎えました。オールグリーンコープとしても重点的に利用をすすめてきました。委員会では特に畜産物や産直びん牛乳の利用普及について、毎回議題に挙げて単協の取り組みを共有し、それぞれの単協での利用普及に活かすための意見交換を重ねました。また、各単協の産地やメーカーの視察・交流の様子は、報告書・チラシ・写真などで共有しました。

委員会として商品メーカー視察・交流も活発に行いました。参加者は見て・聞いて・感じたことを自分の言葉で組合員に伝え、各単協での利用普及の取り組みに活かすことができました。視察・交流の様子の報告もホームページにタイムリーにアップし、多くの組合員に知らせることができました。

「産直」商品学習会ではグリーンコープの産直の歴史や畜産物の飼料のこだわり、添加物に頼らないおいしい商品作り、そして、安心・安全を確かかしているグリーンコープ商品生産・製造認証システムなどについて学習しました。

今後も積極的に視察・交流に取り組みながら、商品の利用をすすめる委員会として元気に活動していきます。

共同体第八期通常総会スローガン

○食べものと環境を育み、「助けあい、支えあう」生活協同組合として、より地域の中で、組合員や市民が信頼を託しあえるグリーンコープへと向かっていきたいと思います。

○組合員の願いを実現するための存在として生き続けていくために、組合員力をアップして、組合員による「グリーンコープ運動」を力強く推進すること、「グリーンコープ運動」に参加する仲間をふやしていきたいと思います。

○東日本大震災によって被災されたみなさんへ向けて、生命(いのち)に寄り添い、私たちの日常のまま、グリーンコープとしてグリーンコープらしく支援活動を継続していきましよう。

○人と人が助けあう共生社会の創出に向けて、生活再生事業を推進し、「抱樸館福岡」やフアイバーリサイクル事業、家計とくらしの応援活動、子育て応援などの助けあいの運動と事業を、社会福祉法人グリーンコープそして労働協同組合(ワーカーズ)と共にすすめていきたいと思います。

○原発、遺伝子組み換え、地球温暖化などの社会的な問題に、生命(いのち)を根幹にすえて、市民とその連帯が主体となつて、できるところから解決していきたいと思います。

○民衆交易や互恵のためのアジア民衆基金などの取り組みを通して連帯・交流することで、「南と北」「北と北」の共生・連帯をさらにすすめていきたいと思います。

○グリーンコープの再建について、生活協同組合の原点に立ち帰り、人と人の結びつきを豊かにして、運動を推進する事業の強化について、組合員、労働協同組合(ワーカーズ)、職員事務局が全力で取り組んでいきたいと思います。

市民発電事業が順調にすすんでいます

一般社団法人グリーン・市民電力専務大橋年徳さん

組合員の思いが出資金という形になって

組合員が市民発電所建設のために出資する「グリーンコープ・グリーン電力出資金」には、6,866人(6月14日現在)が参加され、10年後の積み立て目標額は約7億7千万に達しています。

5月末日現在で実際に入金された額は約2億5千万となり、これは2メガワットの発電所建設費用の40%に相当します。

各単協で検討がすすむ発電所建設

神在太陽光発電所は順調に発電を続け、7ヵ月間(2013年9月〜2014年3月)で約170世帯分の電気を発電しました。2014年度はグリーンコープの若宮物流センター、広島物流センター、山口西部センター、

自然エネルギーで発電された電気を使いたい

全国各地の市民地域発電事業者が集まり、「全国ご当地エネルギー協会」が設立されました。情報共有や共通の課題の解決を通して自然エネルギー

この屋根に太陽光パネルを設置して発電を開始する予定です。

これまで8単協で調査をすすめてきましたが、条件に合う土地がなかなか見つからず、候補地探しに苦労しています。

一方で、検討の中で「市民風力発電」「環境エネルギー政策研究所」「自然電力」との出会いがありました。それぞれに市民レベルでの出資や地域を主体にした発電事業などに取り組んでいる団体で、現在、共同での事業化についての相談をすすめています。



広島物流センターの太陽光パネル

終わりの挨拶



グリーンコープ生協とつり理事長 小椋 あけみさん

それぞれの役割を果たしていきたいと思います

情報、価値観、働き方、生き方が多様化している現代の日本社会の中で、何を基準にしていけばよいかと考えた時、一番に大事なものは、間違いなく「いのち」だと思います。「いのち・自然・暮らし」を守るというグリーンコープの理念、「みどりの地球をみどりのままで」子どもたちに渡したいと願う母親の気持ちに立ち帰ったら、グリーンコープをもっと広げていくことができると思います。

私たちは、今日の総会で、2014年度のために準備してきた2013年度の歩みを確認し、グリーンコープ運動の素晴らしさを実感することができました。

グリーンコープ運動は社会的にもとても大きな、大切な運動です。その成功の鍵は、グリーンコープに集う組合員みんなが元気にそれぞれの役割を果たしていくことだと思います。

東日本大震災復興支援募金へのご協力ありがとうございました

2014年3月の募金額

11,417,000円

グリーンコープは今後も「公益財団法人共生地域創造財団」を通して、被災地での支援活動を続けていきます。

チェルノブイリ支援募金へのご協力ありがとうございました

募金額 2,254,000円

グリーンコープでは1995年から、チェルノブイリ原発事故の被災者への支援募金活動に取り組んでいます。2014年も3月に募金を呼びかけ、684名の組合員からご協力いただきました。

支援募金は、NPO法人「チェルノブイリ医療支援ネットワーク」を通じて今後の支援活動に役立てられます。

共同体第八期通常総会で選出された役員

理事全体区
薬師寺 ひろみ
共同体商品検討委員長

理事地域区
成 耆泰
おおさか専務理事

藤瀬 広樹
さが専務理事

観音 大吾郎
みやざき専務理事

北口 淳子
ふくおか副理事長

松本 裕子
ふくおか副理事長

柳川 晶子
さが副理事長

佐々木 和宏
おかやま専務理事

棚町 伸良
ふくおか常務理事

本田 慎一
ふくおか常務理事

森瀬 美治
ふくおか常務理事

高濱 千夏
くまもと副理事長

手島 真理子
共同体

江里 俊之
おおさか

伊藤 英穂
やまぐち

古賀 栄子
ふくおか

井上 真紀
ふくおか

退任した役員

藤本 晶博
ふくおか

松藤 泰大
ふくおか

福嶋 里美
さが

野中 雅則
さが

石打 寿
みやざき

村山 華奈
くまもと

三堀 明人
おかやま

城戸 充博
ふくおか

共同体第八期通常総会議案採決の結果

代議員数194人		反対	保留	賛成
第一号議案	2013年度活動報告承認の件	0	2	多数
第二号議案	2013年度決算報告承認の件	0	0	多数
第三号議案	2014年度活動方針決定の件	0	3	多数
第四号議案	2014年度事業計画・予算決定の件	0	1	多数
第五号議案	役員補充選任の件	0	0	多数
第六号議案	議案決議効力発生	0	0	多数

商品、カタログ、ホームページを 大胆に見直しました

2014年6月18日
グリーンコープ連合
第二十二期通常総会



グリーンコープ連合専務理事
西村 大輔さん

2013年度、グリーンコープ連合は、4年連続で減少している供給高を上げるために、単協と協同して前年を上回ることに取り組みました。また、業務の強化と合理化に取り組みました。

25年ぶりの商品開発と 利用普及

グリーンコープの商品を良くするために、大規模な商品開発・改善をすすめました。その一環として納入価格の値下げを

生産者・取引先と協議しました。産直鶏肉は生産者と協議を重ねて7%の値下げを実現、前年比120%の供給を達成することができました。

また、グリーンコープの食べもの運動に賛同する新たな取引先とコンペによる商品開発・改善を行いました。だしやストックサーモンを新たに開発、これまでよりも安くおいしい商品を生み出すことができました。

企画・カタログ編集の改善 供給システムの改善

カタログGREENを大幅にリニューアル。見やすくすっきりとしたレイアウトで、市販との違いを分かりやすく案内し、組合員に情報を発信するページ・コーナーを

設けました。供給高を分析して商品の見せ方の工夫もしています。暮らしのGreenもカタログGREENと一緒にすることで、今まで別チラシを見ていなかった組合員にも見てもらえるようにしました。注文書も見やすく記入しやすいよう改善し、使いやすくなったと好評です。

2013年に創刊したGREENぶらすは50歳代以上の利用が7割を超え、ターゲットである新しい大人世代に一定は支持されていることがわかりました。利用の減少を挽回すべく、今後さらに商品とカタログ内容の充実を図っていきます。

ホームページのトップ画面を一新しました。テレビCMの場面などが見られる楽しい画面にし、無料サンプルのパナーを目立たせてグリーンコープ商品を試してもらいやすいようにしました。イ

連合第二十二期通常総会議案採決の結果

代議員 189人	反対	保留	賛成
第一号議案 2013年度活動報告承認の件	0	0	多数
第二号議案 2013年度決算報告承認の件	0	0	多数
第三号議案 2014年度事業計画・予算決定の件	0	1	多数
第四号議案 会計監査人解任の件	0	1	多数
第五号議案 会員規約改定(出資金改定)の件	0	2	多数
第六号議案 役員補充選任の件	0	0	多数
第七号議案 役員報酬決定の件	0	0	多数
第八号議案 議案決議効力発生の件	0	0	多数

連合第二十二期通常総会で選出された役員

理事全体区	柳川 晶子	古賀 栄子
薬師寺 ひろみ 共同体商品検討委員長	さが副理事長	ふくおか
理事地域区	高濱 千夏	井上 真紀
北口 淳子 ふくおか副理事長	くまもと副理事長	ふくおか
松本 裕子 ふくおか副理事長	退任した役員	福嶋 里美
	伊藤 英穂 やまぐち	村山 華奈
	手島 真理子 共同体	くまもと
		生協名は一部省略しました

業務の労働協同組合化

業務の担い手を労働協同組合化するため、カタログ編集の労働協同組合が誕生し、商品部業務も準備をすすめています。組合員の視点でカタログ制作や商品開発・改善をして利用拡大をめざします。

2014年度の方針

2014年度も引き続き、業務の合理化・効率化をすすめるながら、商品開発や青果の欠配削減、カタログやインターネット注文サイトの改善に取り組む、オールグリーンコープで利用を拡大するための事業を着実にすすめていきます。

組合員を応援する たすけあいの取り組みを すすめていきます

2014年6月18日
グリーンコープ共済連
第五期通常総会



グリーンコープ共済連専務理事
小笠原 尚隆さん

CO・OP共済は生活協同組合がめざす助けあい・支えあいのしくみとして全国の生活協同組合員に支持されてきました。グリーンコープは地域福祉に本格的に取り組むにあたって、1994年にCO・OP共済の取り扱いを始めた。

生協法の改正を受けて、2010年、CO・OP共済の共同元受事業を行う主体として、「グリーンコープ共済生活協同組合連合会」を設立しました。よりよい保障商品を提供し、公正な事業を行うことをとおして、組合員の暮らしの保障や課題解決に役立ち、安心で心豊かな地域社会づくりをすすめていくことをめざしています。

事業を健全に経営し、契約者(組合員)に約束した保障を果たしていくためには、共済の新規加入者を増やす必要があります。2014年度も引き続き、「満期からの次の共済への継続」「グリー

事業報告

2013年度のCO・OP共済「たすけあい」契約件数は目標を達成できませんでした。また、「たすけあい」の65歳と19歳の満期からの次の共済への継続率は全国平均より低調です。

各単協で未集金回収などの取り組みが行われた結果、保険料未収による失効や不成立は共に改善されています。その結果、「たすけあい」の保障の継続と事業の維持につながりました。

事業を健全に経営し、契約者(組合員)に約束した保障を果たしていくためには、共済の新規加入者を増やす必要があります。2014年度も引き続き、「満期からの次の共済への継続」「グリー

「既存契約者への家族加入の呼びかけ」に取り組んでいきます。

労働協同組合FPP円縁と連携しての取り組み

2014年度も引き続き「満期時に次の共済への継続の呼びかけ」「職員・ワーカーズを対象とした学習会」「組合員へのライフプラン講座」「お店での「家計や暮らし・保障の見直し相談コーナー」などをFPP円縁と連携して行います。組合員を応援する助けあいの取り組みを前進させ、グリーンコープが地域になくてはならないものとなるように、飛躍していただくことをめざします。

共済連第五期通常総会議案採決の結果

代議員 188人	反対	保留	賛成
第一号議案 2013年度事業報告承認の件	0	0	多数
第二号議案 剰余金処分案承認の件	0	0	多数
第三号議案 2014年度事業計画および予算承認の件	0	1	多数
第四号議案 定款の一部変更の件	0	1	多数
第五号議案 総合共済事業規約の一部改定の件	0	0	多数
第六号議案 こども共済事業規約の一部改定の件	0	0	多数
第七号議案 役員補充選任の件	0	0	多数
第八号議案 役員報酬決定の件	0	1	多数
第九号議案 議案決議効力発生の件	0	0	多数

共済連第五期通常総会で選出された役員

理事地域区	高濱 千夏	福嶋 里美
北口 淳子 ふくおか副理事長	くまもと副理事長	さが
松本 裕子 ふくおか副理事長	退任した役員	村山 華奈
柳川 晶子 さが副理事長	古賀 栄子 ふくおか	くまもと
	井上 真紀 ふくおか	生協名は一部省略しました



2014年6月18日
グリーンコープ共同体
第八期通常総会
特別決議

グリーンコープが願う、目指すもの(11条)

社会不安が広がり、将来が不透明な中、十年後、二十年後もグリーンコープがグリーンコープであるために、改めて私たちが目指すものを定め、これからの私たちのよりどころにしていきたいと考え、グリーンコープ共同体理事会で検討を重ねてきました。

グリーンコープ共同体第八期通常総会で採択した、特別決議「グリーンコープが願う、目指すもの(11条)」の全文を掲載します。

私たちは、戦後50周年を記念し、1995年6月13日に開催されたグリーンコープ連合(法人)第三期通常総会の「特別決議」として「不戦決議」を採択しています。私たちは、平和と生命それ自体に価値があるというあたりらしい考え方をその中で宣言するとともに、「人としての自己表現、特にその自己中心性(これが何時でも支配、圧政、侵略、特に正義に化ける)―その意味で戦争と暴力の本質的な原因」と日常的に、根気よく格闘していかなければならない」ことを確認しました。

そして、それから19年の歳月が経過しました。私たちは、この19年間の私たち自身の成長を踏まえ、「第一不戦決議」の位置づけにおいて、以下のとおり、「グリーンコープが願う、目指すもの(11条)」を取りまとめました。私たちはこれらここに取らまめられた「グリーンコープが願う、目指すもの(11条)」にしたがい、ありとあらゆる支配と抑圧、人間の差別と分断に終止符を打ちつつ、疎外の復路を歩む人類の大河のごとき流れに掉さし、戦争を最終的に廃絶し、平和な世界を築いていく覚悟です。

記

第1条(疎外の復路)

① 人類は約一万年前、森を出て、自然から疎外されたことを端緒に、長らく疎外の復路を旅してきました。しかし今、人類はこの疎外の復路を折り返し、疎外の復路を歩み始めています。つまり、人類は今、すべての疎外関係を共生関係に組み替えていく営みを始めています。

② 疎外されたものが疎外したものに向かって、自己解体的に下降していくこと、そのことが疎外関係を共生関係に組み替えていくすべての営みの基本です。人類はそうして、そうした方向に向かって、その歩みを始めています。

③ 人類はそうすることをとおして、ありとあらゆる支配と抑圧、人間の差別と分断に終止符を打とうとしています。グリーンコープは、人類のこの大河のごとき流れに掉さし、人類とともに歩んでいくことを願う、目指すものにほかなりません。

第2条(戦争と平和)

① 人類は疎外の復路を着実に歩み続け、将来、世界共同体を建設し、国境をなくし、戦争を最終的になくしていくことにならざるを得ない。

② と同時に、すべての民族・宗派などの人間集団は、その自主性・自決権を相互に絶対的に尊重することになるでしょう。

③ 人類はそうすることをおして、すべての武器と軍隊を廃絶し、世界の恒久平和を築いていくことにならざるを得ない。

第3条(国際経済連帯)

① すべての国・地域・民族・宗派などは、その経済を常に内外に開いておかねばなりません。

② と同時に、すべての国・地域・民族・宗派などは、その経済の自主性・自決権を相互に絶対的に尊重しなければなりません。

③ 人類はそうすることをおして、経済的収奪と搾取を根絶すると同時に、経済の自主性と民主制を相互に尊重することによって、平和の基礎を築いていくことにならざるを得ない。

第4条(知的財産権の相対化と極小化)

① 絶対化されている知的財産権は相対化され、次第に極小化されていくことにならざるを得ない。何故なら、知的財産は資本の変形にほかならず、知的財産権の絶対化は、資本の絶対的保全の要求にほかならないからです。

② 人間の知的探究心は無限です。したがって、知的財産権の相対化と極小化は決して、人間の知的探究心を殺すことを意味しません。

③ 人類はそうすることをおして、知的財産権の名において、資本が公然と人間を搾取することをやめさせていくことにならざるを得ない。

第5条(主権在民)

① 人類は私有財産権を絶対的に尊重し、「私」が「私」であることを尊重することになるはずだ。何故なら、人類がもし私有財産権を否定すれば、人間は再び奴隷に貶められることにならざるを得ない。

② と同時に、「公」を「私」することは厳しく禁じられることにならざるを得ない。

③ 人類はそうすることをとおして、権力が「公」を「私」することをなくし、主権在民を真に実態化していくことにならざるを得ない。

第6条(自然との共生)

① 人類は正義や大義に生きるだけでなく、生命に寄り添い、生命とともに生きることにするはずだ。何故なら、平和と生命それ自体に価値があり、生命は正義や大義を包摂する絶対的正義と大義を意味するからです。

② と同時に、人類は自然に寄り添い、自然とともに生きることにするはずだ。

③ 人類はそうすることをおして、生命としての人間の原点に回帰し、自然と共生して生きることにならざるを得ない。

第7条(南と北の共生)

① ヒューマニズム(人間中心主義)のシャワーを浴びて、「北」は「南」から疎外されました。そして、そのようにして「南」から疎外された「北」は、「南」を残酷に抑圧し、支配・収奪してきました。

② だがしかし、「北」はこれから自己解体的に「南」に下降し、その有機性に救われつつ、「南」とともにその奴隷制を解体していくことにならざるを得ない。

③ 人類はそうすることをおして、「北」の「南」の支配・収奪をなくし、「南」と「北」の共生を実現していくことにならざるを得ない。

第8条(女と男の共生)

① 女は生命(有機)そのものを意味しています。男は、生命そのものとしての女から疎外された、非生命的生命(無機)を意味しています。そして、

女(有機)は長い間、男(無機)に媒介されて、生きてきました。しかし現代、男は無機(非生命)としての自己運動を強め、生命(有機)そのものの危機を招き立てています。うけて、女(有機)は男(無機)の媒介を拒絶し、自立しました。

② 男はこれから、自己解体的に生命に下降し、その有機性を再生させつつ、女とあたらしく出会っていくことにならざるを得ない。

③ 人類はそうすることをおして、女と男の共生を実現し、生命としての人間の原点に回帰していくことにならざるを得ない。

第9条(人の共生)

① 労働は、自己表現のひとつです。同時に、歌う・踊る・描くなどの単発的な自己表現と異なると、労働はもつとも総合的な自己表現を意味しています。したがって、人間から労働が奪われることは、人間から生きる術(自己表現)が奪われることに等しいと言えます。

② と同時に、人間は多様です。したがって、人間の自己表現も多様です。とすれば、人間の多様な自己表現は常に相互に平等でなければなりません。つまり、人間は常に、場面・場面で主役を交代すべき存在です。

③ 人類はこの事実を理解し、尊重することをおして、勝ち負けの能力だけを細点的に評価する能力主義を克服し、人間の多様性を相互に尊重し、人の共生を実現していくことにならざるを得ない。

第10条(生産と消費)

① 戦後の主権在民宣言(新憲法の制定)は、日本における産業革命成功の基

礎を意味しました。そして、1960年代の日本の高度経済成長、つまり、日本における産業革命の成功は、生産(生存)と消費(自己表現)の分化をもたらし、消費と自己表現の自立をもたらししました。

② うけて、自立した消費と自己表現はこれから、生産と生存とあたらしく出会い、生産と生存に向かつて自己解体的に下降していくことにならざるを得ない。

③ 人類はそうすることをおして、消費と自己表現の自己中心性を克服し、生産(生存)と消費(自己表現)の共生を実現していくことにならざるを得ない。

第11条(人間と労働と資本)

① 人間に類的・歴史的に通過した時間が社会的生産力の本質です。また、人間に個的・時代的に通過した時間が労働の本質です。そして、このふたつの時間が協働して、すべての価値が産み出されています。ところが、価値から疎外された貨幣(資本)が、その強力な媒介力で社会的生産力に転移し、人間と労働をその膝下に跪(ひざまづ)かせることにならざるを得ない。

② だがしかし、貨幣(資本)はこれから、人間と労働にあらしく出会い、人間と労働に向かつて自己解体的に下降し、人間と労働と共生していくことにならざるを得ない。

③ 人類はそうすることをおして、生命としての人間に回帰し、恒久的な世界平和を実現していくことにならざるを得ない。

以上

いい環境を未来に残そう

グリーンコープでは年間を通して環境にやさしいせっけんの利用をすすめています。特に7月のシャボン玉月間には、各単協でさまざまな取り組みが行われています。

3月に共同体組織委員会主催で行われた「せっけん学習会」と、4月に大阪市で開催された「シャボン玉フォーラムin大阪」のようすを紹介いたします。

2014年度 せっけん学習会

「やっぱリー！せっけん」を 楽しく伝えましょ

2014年3月27日、今年度、せっけん運動をすすめていくためのスタートとして共同体組織委員会主催の「せっけん学習会」が、福岡市で開催されました。せっけん運動を伝える各単協の組合員が参加し、せっけんについて理解を深め、単協の取り組みを共有する場となりました。

せっけんに関しては初心者からベテランまでさまざまです。使い方に確信が持たずに、上手に伝えることが難しいと感じることもあるかもしれません、あせらず地道にすすめていきましょう。

4単協からの取り組み報告

グリーンコープ生協さが

地域組合員を対象とした「環境のことを考えて、せっけんを使っていいこと」をテーマにした「た」などの感想が寄せられました。せっけんをうまく使いこなせていない組合員の質問等に丁寧に対応することで、利用につながった。せっけんの使い方を紹介した冊子や、せっけんの紙芝居も好評で今後も活用していきたい。

グリーンコープがこま生協

有料せっけんモニター（半額負担）では、キッチン、お洗濯、シャンプーなどコースを設けて実際に使ってもらい、使用感などのアンケートを実施した。キッチンコースのモニターへは、泡立ちのよいパックスナチュロンキッチンスポンジを案内して継続利用を呼びかけた。

グリーンコープ生協ひろしま

委員や職員対象のアンケートでは、せっけんを利用することが出された。まず自分が使ってみて納得することが大切だと考え、せっけんを使いこなせるように使い方のコツの案内等をした。地域の組合員へ自信をもって語っていきけるように皆で協力して伝えていきたい。



さかの組合員による紙芝居の発表

共同体組織委員長 久保かおりさんのお話 なぜ、せっけん？

毎日の洗濯は 試行錯誤のチャンス

洗濯はほとんどの人が毎日行っています。日々の経験をチャンスにとらえ、せっけんを上手に使っている人の話を聞き、試行錯誤しながら、自分にあった洗濯法を見つけてほしいと思います。

互いの経験を伝えあう

まずは自分の経験をもとに、せっけんを使ってよかったと感じていることを伝えることが一番のポイントです。伝える側の組合員も、

環境を守りたい思いをせっけんの泡にのせて

シャボン玉月間に合わせ、せっけん運動ネットワーク(旧協同組合石けん運動連絡会)が毎年キャッチコピーとポスターを公募しています。昨年に続き今年度も両部門でグリーンコープの組合員の作品が選ばれました。



キャッチコピーの作者

地球全体をせっけんで洗濯してきれいにできたらいなと思いつき、ピンときたのがこのキャッチコピーです。グリーンコープの地域委員会の中で、「食」から始まったグリーンコープの思いが地域や環境、福祉などの人の暮らし全体につながっていることについての意見交換がヒントになりました。日頃から、環境やせっけんのことを、もっと広く多くの人にアピールすることが必要だと感じていました。今回、キャッチコピーが採用され、素敵なイラストと共に、多くの人の目にふれることをとても嬉しく思っています。家族や職場のみんなもとても喜んでくれていました。



グリーンコープ生協
ふくおか
藤原 かつみさん

ポスターの作者

キャッチコピーからポスターのイメージを膨らませました。テレビに時々流れるグリーンコープのCMに励まされ、あれこれ構想を練る時間も楽しかったです。実際に「よし、描こう」と思ったのは締め切り3日前。せっけんの真っ白い泡の中に、赤ちゃんや地球、ペットなど私の大切にしたい暮らしのイメージを重ね、水彩画とクレヨンタッチで、地球にやさしい表情が伝わればと思いつきました。採用の知らせに高1の息子が「やったね」と喜んでくれました。わが家では、家族みんなでせっけんを使っています。ポスターが多くの人の目にとまって、せっけんが広まるといいなと思います。



グリーンコープ生協
ふくおか
小西 みどりさん

シャボン玉フォーラムin大阪 第6分科会 市民・地域共同発電 しゃべり場



グリーンコープ生協ふくおか
理事長 大橋 由美子さん

第6分科会では、地域で発電事業をすすめている7団体の報告がありました。グリーンコープからは、ふくおかの大橋理事長が、脱原発の取り組みとしてすすめている市民発電事業について報告しました。

「グリーンコープではチェルノブイリの原発事故後、脱原発政策を策定しさまざまな活動してきました。東京電力の福島原発事故後は私たち自身の力で脱原発を実現させようと、一般社団法人グリーン・市民電力を立ち上げ、福岡県糸島市に第一号の太陽光発電所をつくりました。子どもたちが安心して暮らしていける未来をつくるために、市民発電事業への参加としての出資を、

さらに組合員に呼びかけていきます。その他、太陽光発電で得た利益をもとに電力会社をつくる団体や、自然循環型農業でコジェネレーションをすすめている団体の報告もあり、一人ひとりが何ができるかを考え、具体的に行動していく大切さを共有した分科会でした。

※1 発電した際に生じる廃熱も同時に回収し、再利用する発電システム

7月は
シャボン玉
月間

せっけんを使って、よりよ

みんなでさがそう 再生のキーワード

2014年4月25日・26日「シャボン玉フォーラムin大阪」が開催され、全国からせっけん運動に取り組む生協などの団体が参加しました。今回は「みんなでさがそう」再生のキーワードをテーマに、環境に関する現状の課題を参加者で共有し、再生へ向けた道筋を探る機会となりました。グリーンコープからは35人が参加しました。

2日間のフォーラムの中の、全体会の講演会の要旨、分科会の一部について報告します。

シャボン玉フォーラムin大阪



オープニングでは、大阪のコラスグループによるミュージカルで盛り上がった

基調講演

脱原発・再生可能エネルギー中心の社会へ ～全国各地に市民・地域共同発電所をつくらう～



自然エネルギー市民の会
代表・元立命館大学教授
和田 武さん

必要なエネルギーは再生可能エネルギーだけで賄える

世界を見ると、原発は韓国、中国、台湾などアジア諸国で増えている一方、欧州では減り、再生可能エネルギーによる発電が増えている。日本は再生可能エネルギーによる発電の割合が低く、地震国にもかかわらず51基もの原発が現存し、再稼動しようとしている。石炭、石油などの地下資源はいずれ枯渇する。二酸化炭素(CO₂)による環境へのリスクも大きい。一方、再生可能エネルギーは、ほぼ無限にある。私たちは再生可能エネルギー中心の社会をつくっていくしかない。現代技術による再生可能エネルギー



せっけん利用伸長率優秀団体の表彰では、グリーンコープからひょうごとおかやまが表彰されました

ギン資源の利用可能量は、世界の年間エネルギー使用量の約17倍。再生可能エネルギーだけで賄うことは十分可能だ。

再生可能エネルギーの普及の主体は市民・地域

ドイツとデンマークでは、再生可能エネルギーを積極的に取り入れ、地域・住民が関わりながら関連産業を発展させている。両国のエネルギー政策には、普及促進につながる重要な二つの構造がある。

一つ目は、再生可能エネルギーを、大企業所有ではなく小規模分散型で地域や市民が所有していること。デンマークでは主に風力発電を推進し約8割が住民所有の発電所だ。

二つ目は、発電が軌道に乗った地域で、産業や雇用が生まれていること。例えばドイツでは、農家がメタンガスをつくるこ

一人ひとりが今行動しよう

日本は再生可能エネルギーによる電力の買い取り価格がドイツの3分の2でしかない。日本の政策の遅れは明らかだ。また、市民の意識もドイツやデンマークにはまだ及ばない。そのことも再生可能エネルギーの普及がすすまない要因になっている。

日本では、農地にソーラーパネルを設置したり、温泉地での湯煙発電などの事業がすすめられている。そのような、土地柄や特性を活かした再生可能エネルギーを各地域で模索し積極的にすすめる必要がある。日本だけでなく地球環境全体を一人ひとりが考え、行動していけるような社会にしなければならぬ。

シャボン玉フォーラムin大阪 第5分科会 なぜ石けんか

有害化学物質削減ネットワーク・会員
田中 輝子さん

環境への影響が危ぶまれる合成洗剤

せっけんは、昔から使われてきた歴史があり、環境にやさしい洗剤であるにもかかわらず、全国で1割程度しか使われていない。経済重視の社会の中で便利さや時間短縮が優先され、合成洗剤メーカーの宣伝戦略もあって、環境や生命への影響が見えにくくなっていると感じている。合成洗剤に含まれる化学物質は環境中で分解されにくく、毒性の強いものも多い。

有害化学物質からつくられた合成洗剤等を使わない暮らしをしよう

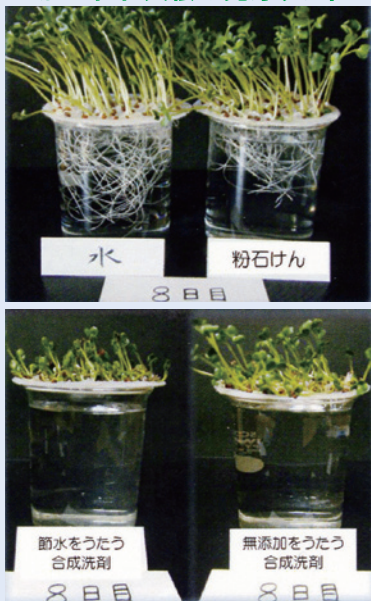
人の健康や生態系に有害な化学物質が、どこから、どれだけ排出されているかを知るとともに、化学物質の排出量や化学物質による環境リスクを減らすための制度の一つに、P、R、T、R制度がある。それによって大気や水域、土壌への排出量と物質名が情報公開されている。その中には、合成洗

剤の成分も9物質(第一種)含まれ、ほとんどの成分が国の法律で有害化学物質として指定されていることになる。安全なせっけんは、もちろん指定物質ではない。それでも家庭からの合成洗剤の排出量は減っていないと推測される。主に台所や洗濯、シャンプーで合成洗剤が使われ続けていることが背景にあると考えられる。

今、私たちにできることは、合成洗剤の裏面表示を見て、たくさんの化学物質が使われていることを知ること。そして生活の中で化学物質の使用について常に気にかけて、できるだけ使わない暮らしをしていくことだ。一人ひとりが環境について関心を持つこと。それが自分たちの暮らしのあり方を見直すきっかけになればと願っている。

※2 事業者が、環境に排出、廃棄等で移動させた化学物質の量を国に報告する制度。第一種462物質、第二種100物質

かいわれ大根の発芽テスト



水、せっけん・合成洗剤それぞれを標準使用量の2倍に薄めた液体でかいわれ大根の発芽テストをし、生長のようすを記録した。合成洗剤では、発芽はしたが全く根を張ることができなかった。植物、環境にも影響を及ぼすことが推測される

2014年5月
酪農生産者交流会
菊池地域農業協同組合

組合員・メーカー・生産者が一緒に作りあげた びん牛乳を飲み続けていきましょう



組合員の取り組み報告

試飲やインターネットテストをして、びん牛乳の良さやおいしさを実感してもらい利用に結びつける取り組みや、びん牛乳を使った料理会などで利用を呼びかけた。



牛の着ぐるみでアピール。アピールグッズや予約プレゼントの手づくりマイバッグを披露



びん牛乳の良さを伝える紙芝居を作った



広報紙を使ってびん牛乳の利用を呼びかけている



2014年度酪農生産者交流会

グリーンコープの組合員、産直びん牛乳のメーカー、non-GMO（遺伝子組み換えでない）飼料で母牛を育てている生乳生産者など41人が一堂に会して、酪農生産者交流会（毎年2回）が5月29日、熊本県菊池市で行われました。交流会の様子を紹介します。

生産にかける思いと組合員の思いを伝えあって

「今日生産者の皆さんと出会って学んだことを単協に持ち帰ってたくさんの人に伝えたい」という、やまぐちの佐々木さんの元気な挨拶から交流会はスタートしました。生産者とメーカーをつなぐ熊本酪農農業協同組合連合会の大野さんや菊池地域農業協同組合の御手洗さんは、円高による飼料の高騰や、TPP（環太平洋連携協定）問題による先行き不安など、いろいろな理由で廃業する酪農家が出てくる様子を話しました。non-GMO牛乳生産者委員会委員長の永田さんは、「安心・安全な牛乳を届けるために、22戸の生産者は一生懸命頑張っています。皆さんといろんな話をしたいと思えます」と、組合員との交流に期待する気持ちをこめて挨拶しました。雪印メグミルク（株）の石井さんは、「殺

菌温度の低いパステライズ牛乳の製造には、生乳の質がとても重要です。届けられる生乳の質は基準をはるかに超える素晴らしいものです」と太鼓判を押し、「グリーンコープの組合員がびん牛乳を思う気持ちを工場に持ち帰り、製造への励みにしたいと思えます」と述べました。



non-GMO牛乳生産者委員会委員長の永田さん（右）に組合員からのお手紙を渡すおおさかの松尾さん



閉会の挨拶をするひろしま理事長の熊野さん

グリーンコープ各単協の17人の組合員からは、びん牛乳の利用をすすめる様々な取り組みの報告がありました。「私も飲み続けていきたいと思います」と組合員からの元気なアピールで参加者は心をひとつにしました。

厳しい現実を乗り越えるために
グリーンコープ職員からびん牛乳の供給実績について報告がありました。数年前から供給は下がり続け、2013年度前半の供給高は前年比93.2%だったが、2013年度末は前年比94.4%にまで持ち直してきているとのこと。その理由としては各単協での利用普及の取り組みや、ふくおかをはじめとする組合員拡大の取り組みの成果であることなどが報告されました。

交流会の最後には、ひろしま理事長の熊野さんが、「初めてびん牛乳に出会ったときの感動をたくさんの人に伝えたい。組合員力を発揮してびん牛乳を飲む仲間を増やしていきたい」と力強くアピールしました。

農場視察



家畜伝染病予防のため、防護服を着て視察。組合員は生産者を囲んでメモを取りながら熱心に質問をしていた

母牛の飼育の様子を見学
午後2班に分かれて、生産者の農場を視察しました。

母牛を90頭ほど飼育している斎藤さんは「牛は暑くなると餌をあまり食べなくなり、乳量が減りがちです。牛乳の利用が伸びる夏に乳量が減らないよう、扇風機を回したり、水を屋根にかけてたり、牛に噴霧したりして暑さ対策をしています。6、7月にお産をする母牛が夏場の生乳生産量を支えるので、体力を維持するために搾乳中の牛とは餌を変えなどの対策を行っています。non-GMOの餌は安心・安全で、牛の健康にもいいのです。健康な牛から搾る生乳なので、安心してたくさん牛乳を飲んでください」と組合員へのメッセージを託しました。



No.71

エネルギーの将来

2011年3月の東日本大震災と原子力発電所の事故は、原発の危険性と日本がすすめてきたエネルギー政策の問題点をこれまでにない形で明らかにしました。

震災後、全国の原発の稼働が少なくなったため、電力供給が不足するとの予測から計画停電が実施されました。実際には電力不足には至りませんでしたが、このことがきっかけとなり、企業や一般家庭では電力消費に「無駄がなかったのか」を問い直し、多くの人が節電を意識することになりました。

放射能による被ばくのリスクや放射性廃棄物処理の問題などがある原発とは共存できません。

これから日本が選ぶべきエネルギーは、持続可能で地球温暖化につながらず、利便性も損なわれない再生可能エネルギーです。「再生可能エネルギー100%」に向かうために何が必要なのか、多くの人がそのことを考えはじめています。

子どもたちが安心して生活ができる未来に向けて、今こそ歩みをすすめるべきです。

グリーンコープ共同体組織委員会



この日集まった「とんぼ」のメンバー。前列右から2番目が代表の本田さん



お互い様のつながりを 地域の中に広げたい

グリーンコープ地域たすけあい・絆 「とんぼ」

代表 本田 洋子さん

●プロフィール

熊本市在住。グリーンコープの前身生協時代から組合員活動に関わる。グリーンコープふくしサービスセンター結ぶたばの元管理者。子ども3人はすでに独立。グリーンコープ生協くまもと組合員

自分たちが住みたい街を 自分たちの手で

本田さんたち組合員活動を卒業した仲間7人が集まり、「地域サークル・とんぼ」を立ち上げたのは2008年。福祉活動組合員基金の助成を受け、地域の老人会などに向いて一緒に小物作りをしたり、熊本市が主催する生ごみ堆肥化講習会のスタッフを担うなど、これまでの経験や知識を生かしながら地域で活動した。その中で、メンバー同士の助けあいの関係や地域とのつながりが自然に生まれていった。

誰が集えて 気晴らしできる場を

現在、「とんぼ」の会員は17人。そのほとんどが組合員活動や福祉ワーカーの第一線で活動した経験を持っている。主な活動は、「気晴らし・とんぼ」と「気晴らし・カフェ」の開催。どちらも地域に住む誰もが参加できる交流の場だ。



「気晴らし・とんぼ」の昼食風景。グリーンコープの食材を使った料理が並び

「私たちの周りにも昼間一人で過ごしている高齢者の方が増えてきました。介護保険や行政のサービスはありますが、それだけでは安心とは言えません。健康のことや老後のこと、認知症になったらどうしようという心配などがあっても相談する相手がなく、不安を抱えたままの方も多いため、気軽に参加して交流を深めていく中で、困ったときに助けあえるつながりをつくっていきたいと思います。会員には民生委員や福祉ワーカーもいるので、さまざまな情報を届けることもできます」と本田さん。

「とんぼ」では、月2回運営会議を開いて、季節行事の企画や昼食メニューを考えたり、小物作りの下準備などを行っている。目下の課題は参加者を増やすこと。案内チラシやポスターを作って自治会などに持参している。会員の民生委員がパイプ役となり、地域の人たちに直接声をかけることもある。

「私たちが周囲にも昼間一人で過ごしている高齢者の方が増えてきました。介護保険や行政のサービスはありますが、それだけでは安心とは言えません。健康のことや老後のこと、認知症になったらどうしようという心配などがあっても相談する相手がなく、不安を抱えたままの方も多いため、気軽に参加して交流を深めていく中で、困ったときに助けあえるつながりをつくっていきたいと思います。会員には民生委員や福祉ワーカーもいるので、さまざまな情報を届けることもできます」と本田さん。

「私たちが周囲にも昼間一人で過ごしている高齢者の方が増えてきました。介護保険や行政のサービスはありますが、それだけでは安心とは言えません。健康のことや老後のこと、認知症になったらどうしようという心配などがあっても相談する相手がなく、不安を抱えたままの方も多いため、気軽に参加して交流を深めていく中で、困ったときに助けあえるつながりをつくっていきたいと思います。会員には民生委員や福祉ワーカーもいるので、さまざまな情報を届けることもできます」と本田さん。

3年が過ぎる頃、今後について話し合い、「地域の中で互いがつながり、助けあひながら安心して暮らせる街をつくっていく」ための互助組織づくりが必要だと考えた。折しもくまもとでは、これからの地域づくりの検討がすすめられており、その考え方は本田さんたちの思いとまさに一致した。

2012年4月、「地域サークル・とんぼ」は、くまもとの新しい地域福祉の取り組みを実践する組合員組織として生まれ変わり、「グリーンコープ

「私たちが周囲にも昼間一人で過ごしている高齢者の方が増えてきました。介護保険や行政のサービスはありますが、それだけでは安心とは言えません。健康のことや老後のこと、認知症になったらどうしようという心配などがあっても相談する相手がなく、不安を抱えたままの方も多いため、気軽に参加して交流を深めていく中で、困ったときに助けあえるつながりをつくっていきたいと思います。会員には民生委員や福祉ワーカーもいるので、さまざまな情報を届けることもできます」と本田さん。

「私たちが周囲にも昼間一人で過ごしている高齢者の方が増えてきました。介護保険や行政のサービスはありますが、それだけでは安心とは言えません。健康のことや老後のこと、認知症になったらどうしようという心配などがあっても相談する相手がなく、不安を抱えたままの方も多いため、気軽に参加して交流を深めていく中で、困ったときに助けあえるつながりをつくっていきたいと思います。会員には民生委員や福祉ワーカーもいるので、さまざまな情報を届けることもできます」と本田さん。

「私たちが周囲にも昼間一人で過ごしている高齢者の方が増えてきました。介護保険や行政のサービスはありますが、それだけでは安心とは言えません。健康のことや老後のこと、認知症になったらどうしようという心配などがあっても相談する相手がなく、不安を抱えたままの方も多いため、気軽に参加して交流を深めていく中で、困ったときに助けあえるつながりをつくっていきたいと思います。会員には民生委員や福祉ワーカーもいるので、さまざまな情報を届けることもできます」と本田さん。

「私たちが周囲にも昼間一人で過ごしている高齢者の方が増えてきました。介護保険や行政のサービスはありますが、それだけでは安心とは言えません。健康のことや老後のこと、認知症になったらどうしようという心配などがあっても相談する相手がなく、不安を抱えたままの方も多いため、気軽に参加して交流を深めていく中で、困ったときに助けあえるつながりをつくっていきたいと思います。会員には民生委員や福祉ワーカーもいるので、さまざまな情報を届けることもできます」と本田さん。



グリーンコープ生協ふくおか
福岡地域理事長
北口 淳子

母が入院し、福岡と奈良を行ったり来たりする日々が続きました。離れて生活していたのでゆっくり話すことがなかったのですが、病院で母といろいろ話をすることができました。

今まで話したことのなかったグリーンコープのことを聞いてくれていた母が「よかったね。そんな素敵なことをしてはる人の中でのいろいろなことをさせてもらってしあわせだね」と話してくれたことを思い出します。

支部のみんなのおかげで組合員活動しながら、母との貴重な時間をもてたことに感謝でいっぱいです。

暑い夏、ありがとうを言って、静かに母は逝ってしまったけれど、わたしも、たくさんの人にありがとうを伝えることができました。

投稿欄

私の好きなグリーンコープ商品

投稿募集中

●私の好きなグリーンコープ商品

- 250字程度 ●不切 毎月末
- 住所・氏名・年齢・TEL・所属生協名を明記して郵送またはFAX、Eメールでお送りください。掲載分にはグリーン券(グリーンコープ商品の購入に利用できます)500円分を進呈。
- 住所・氏名などの組合員の個人情報は、本紙に掲載の場合のみ使用します。

〒812-8561
福岡市博多区博多駅前1丁目5-1
ヒューリック博多ビル3F
グリーンコープコミュニケーションワーカーズ連
(REN)「共生の時代」編集部 宛
FAX 092-481-7876
Eメールアドレス rikoho@greencoop.or.jp

私の好きなグリーンコープ商品
おさかなソーセージ(ミニ)

ずっと変わらないおさかなソーセージ(ミニ)が私の好きな商品です。安心の無着色はもちろんのこと、素材の良さがロングセラーの証だと思います。毎週注文して冷蔵庫に常備しています。

子どもが小さい頃、食事ができあがるまでが待てず、おさかなソーセージを食べさせたりしました。主人の酒のおつまみにもよく登場します。天ぷらにして熱を加えるとまた格別です。「色々食べてみるとわかるけど、おさかなソーセージはおいしいなあ」と言います。

子どもも既に成人し、今では孫が「おさかなソーセージちょうだい」とねだってきます。

グリーンコープ生協ひろしま
和田 准子



無添加 しかもおいしい 辛子めんたい 新登場

白いごはんには、お酒のおともに、贈り物にも喜ばれるおなじみの博多名物、辛子めんたい。
カタログGREEN19号(7月21日週配布)でグリーンコープの辛子めんたいが、これまでよりさらにおいしくなっており登場します。もちろん、無添加、化学調味料不使用です。
「おいしい」わけを紹介いたします。

添加物は使いません

一般的に、着色料や発色剤、化学調味料など、大量の添加物を使って作られる辛子めんたい。原料から製品ができるまでに10種類以上の添加物が使われると言われています。低品質のたらのこでも、着色料や発色剤などで鮮やかな色に、酵素でつぶつぶの食感に、アミノ酸系化学調味料や甘味料、酸味料で味を調整、上質でおいしいそうに見せることができます。

「辛子めんたいは、添加物や化学調味料を一切使用していません。安心して食べることができます。(表1)」

良質の原料

原料のスケトウダラの卵巣は、時間が経つにつれどん色が黒く変化します。一般的には、発色剤の亜硝酸ナトリウムなどで鮮やかな色を保たせ、黒変した色を目立たせないよう合成着色料が使われています。「無着色辛子明太子」として販売されているものも、発色剤は使用されている場合が多いのです。無添加でおいしい辛子めんたいは作れないという常識を覆す、味も見た目も良い辛子めんたいを作るためには、新鮮で良質な原料が不可欠。辛子めんたいの原料であるスケトウダラの卵巣は、水揚げ後急速冷凍された、粒子の食感が最適なものを厳選しています。



味の決め手は、海水塩(なまご)。長崎県五島灘の崎戸島周辺の海水をろ過して作った、海水中の微量ミネラルを残したまろやかな塩です。辛子めんたいの味をやさしく引き立てています



工場長の小田英明さん 社長の井川英治さん

「おいしさに とことんこだわりました」

新しい「辛子めんたい」の製造メーカー株式会社海千を取材しました

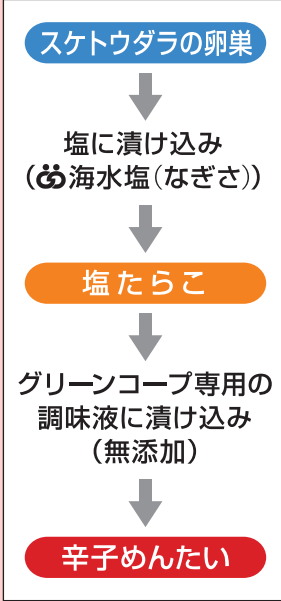
衛生面でも安心を追求
(株)海千は創業20年目の辛子めんたいメーカー。福岡県宗像市にある工場は、九州の辛子明太子工場で初めて HACCP 認証を取得。辛子めんたいは、徹底した衛生管理のもと最新の設備

の中で製造される。原料とスピードが命
添加物で味や見た目をごまかすことができないため、原料の良さと調味の腕がストリートに製品に出る。原料のスケトウダラの卵巣は、ロシア産またはアメリカ産のもの。社長自ら産地で買い付け。できるだけ新鮮で白っぽく色が薄いもの、粒の食感がよいものを選ぶ。発色剤を使わないため製造中にも色が黒変していくので、製造は時間との闘い。辛子めんたいを製造する時は、工場のすべての従業員とラインで一斉に辛子めんたい

味の決め手は、塩
無添加の辛子めんたいは塩の角が立ちすぎてしょっぱくなり、おいしく作ることが非常に難しいと言われている。工場長は全国から塩を取り寄せ塩漬けを試みたが、自然なミネラルバランスの海水塩(なまご)で塩漬け(図1)したものが、一番まろやかでおいしい塩たらができたと言います。塩漬けの塩分と調味液のバランス、調味液の原料と配合も重要だ。毎週のよう試作を繰り返して、半年以上かけてやっと納得のいく味を出すことができました。

自信作ができました
工場長の小田さんは、「味にも安全性にもこだわっているグリーンコープの製品を作れることがうれしい」とこれからの辛子めんたい作りに意欲的だ。社長の井川さんは、「安心・安全、しかもおいしいものを作りたい」とずっと思っていました。今回それが実現し、組合員のみならず、一度食べていただいた「辛子めんたいは日本一だと思えます」と胸を張った。
新しい「辛子めんたい」が食卓に上るのを、楽しみに待ちたい。
※危害を予測し管理点を特定して継続的に監視・記録する食品製造の工程管理システム

辛子めんたいの作り方(図1)



原材料の比較(表1)

辛子めんたい	
原材料	無添加
スケトウダラの卵巣 食塩(海水塩(なまご)) 調味料 本みりん オリゴ糖 清酒 酵母エキス かつお節エキス 醸造酢 唐辛子	
一般的な辛子明太子(例)	
原材料	添加物の役目
スケトウダラの卵巣 食塩 調味料 唐辛子 甘味料(ソルビット・ステビア) 酸化防止剤(V.C) ナイアシン トレハロース 発色剤(亜硝酸Na) 酵素	甘味料 酸化防止剤 発色剤 離水防止 発色剤 食感改善

2014年5月の組合員数 378990人 (5/20現在)

リユース、リサイクルデータ 2014年4月分(回収率) トレー 回収率 48.7%	仕分け袋 回収率 11.7%
モールドパック 回収率 109.6%	牛乳びん 回収率 100.1%
	リユースびん 回収率 66.2%

神在太陽光発電所売電量
2014年5月 173,700kWh
2013年9月からの累計は919,060kWh

フードマイレージ
2014年5月に組合員の利用によってたまったのは
6,314,531.6
CO2に換算して631トンを削減したことになります
2009年9月からの累計は、316,708,657.7ポコ

アジア民衆基金

2014年5月に組合員の利用によってたまったのは

514,717円

2009年4月からの累計は 36,407,725円

グリーンコープのネグロスバナナやエコシュリンプについては、商品代金とは別に「アジア民衆基金」をお預かりしています。アジアの様々な国の人たちが経済的自立をするために、広く役立てられています。

Table with 15 columns: 番号, 商品分類, 商品名, 原料産地, 製造地, 製造日・収穫日等, 測定日, 検査法 (Ge/NaI), and three columns for 131, 134, and 137 (結果, 検出限界値). Rows list various food products and their safety test results.

